

記者資料提供（令和元年 11 月 14 日）  
企画調整局産学連携ラボ 馳川・岡田  
TEL：078-322-6574 内線 2368  
E-mail:design-kobe@office.city.kobe.lg.jp

## こどものための図書館についての安藤忠雄氏からの提案概要

令和元年 9 月 13 日に建築家の安藤忠雄氏より、こどものための図書館を建築し、寄贈したい旨の申し出がありました。その建物等の概要について提案がありましたのでお知らせします。

今後、市会議決など必要な手続きを踏まえてこれを決定し、建設に向けた調整を進めていきます。

### 1. 提案内容

提案書（別紙 1）のとおり

### 2. 建設場所

神戸市中央区加納町 6 丁目 東遊園地内（南エリア）（別紙 2 の位置図）

### 3. 建物概要

構造 鉄筋コンクリート造 地上 3 階

建築面積 約 600 m<sup>2</sup>

延床面積 約 750 m<sup>2</sup>

その他 東遊園地管理棟 3 階部分と接続し、同エリアとの一体的な運用を検討

平面図 別紙 3

イメージパース 別紙 4

## 子どもたちの未来の為に

～「こどものための図書館」を神戸に～

私は子どもの頃、ろくに本を読むことができませんでした。大人になって、読書の楽しさや、大切さに気が付き、それから多くの本を読んできました。本は心の栄養となり、人生を豊かにしてくれました。それだけに、もっと幼い頃から、絵本や文学に触れることが出来ていれはと後悔もしました。

これからの社会を支えていく子どもたちには、出来るだけ多くの本と出会い、豊かな感性を育てたいと思います。スマートフォンに触る時間を半分にして、本を読み、考え、そして悩むことで、人生を生きぬく力を身につけて欲しい。そこで、25年前の震災で壊滅的な被害を受けながらも、人々の頑張りによって復興を成し遂げ、美しい街並を取り戻した神戸のまちに、自由に活字文化に触れることのできる、子どもたちのための図書館をつくってはどうかと考えました。

あの災害の記憶を風化させず、次代の子どもたちに伝えていくためにも、新しい図書館を役立てて頂ければと思います。

古くから文化の集積地として歴史を刻んできた港町神戸。その土壌の上で、次代を担う、豊かな感性と判断力を持った子どもたちが一人でも多く育ってほしいと願います。

安藤忠雄（建築家）

### 【計画概要】

主要構造	鉄筋コンクリート造
階 数	地上3階 地下0階（建築基準法）
敷地面積	7,699.01 m <sup>2</sup>
建築面積	約 600 m <sup>2</sup>
延床面積	約 750 m <sup>2</sup>
主な仕上げ	外部：コンクリート打放し仕上げ 内部：木製壁面書架











